

木工×デジタルで 未来へつながる 持続可能な森をつくります

AGEMATSU
SUSTAINABLE
FOREST
PROJECT

上松町は長野県の南西部、木曽谷のちょうど中央に位置し、昔から地域内外の木材産業を支えてきた木曽ひのきが特産です。また「木工の東大」とも呼ばれる上松技術専門校があり、毎年全国から数十名もの若者が集い、切磋琢磨しながら木工を学ぶ1年を過ごします。

上松町では、技術専門校と地域おこし協力隊制度を連携活用した独自の地域活性化の取り組みをしてきました。そして、さらなる地方創生事業の取り組みとして、子どもたちの世代に持続可能な地域の森をつなぐ『森の6次産業化』プロジェクトを推進しています。



寄附金を活用させていただく事業

Project.1

地域
起業

木工アントレプレナー拠点整備

地域材を活用し木質化を推進する若手木工家の育成・起業支援するためのスタートアップシェア工房を整備し、雇用創出・移住定住を実現します。

Project.2

未来
教育

未来のものづくり教育拠点整備

地域で育つ子どもたちが地域の素材と新しいデジタルものづくりを活用して創造性を育む拠点を整備します。



Project.3

脱炭素

持続可能な地産地消の森づくり

間伐・支障木伐採された地域材や林地残材を搬出し製材乾燥して地域木工事業者が活用できる仕組みをつくり、森の6次産業化を目指します。

Project.4

共創

木工インキュベーション拠点化

整備した拠点に地域の内外から町の関係人口が集まり、ものづくりやクリエイティブを通じて新たな価値創造ができる拠点としていきます。

寄附をいただいた企業さまには

- ① 上松町からの感謝状を進呈いたします。
- ② 当町Webサイトにて企業名を掲載いたします。
- ③ 木工拠点に企業名・ロゴを掲示いたします。



もりをまもる。
みらいをつくる。
Save the forest
Make the future